

2025 11/11

No.2246

毎月第2・第4火曜日発行

政経 かながわ

一般社団法人
—神奈川政経懇話会—



横浜DeNAベイスターズは10月20日、横浜市中区の球団事務所で会見を開き、三浦大輔監督（右）の今季限りでの退任と、ディフェンスチーフコーチ・相川亮二氏の新監督就任を発表した。



政経かながわ

2025 11/11 No.2246

contents

視点描	3
スマホの使い方、議論を	
講演録	4
1860年の日米通貨交渉 ～小栗上野介と万延元年遣米使節団～ 万延元年遣米使節子孫の会理事 堀 早百合	
特集	8
高市早苗政権、 `薄氷、の上を好発進	
経済双眼鏡	12
高揚感は株高だけ?! 危機感欠如を懸念する経済界	
平井久志×リアルワールド	13
韓流ドラマ顔負けの離婚訴訟	
かながわTODAY	14
10月の主な経済ニュース	

事務局だより

◇2025年11月定例講演会
11月19日(水)
午後1時30分～3時
崎陽軒本店(横浜駅東口)
講師：ありあけ創業オーナー
藤木 久三氏

◇2025年12月定例講演会
(シンポジウム・会員交流会)
12月15日(月)
午前11時～午後1時30分
ロイヤルホールヨコハマ(横浜
市中区)
講師：共同通信社政治・経済・
外信部長など
演題：2026年の動向を読む

◇2026年1月定例講演会
1月15日(木)
午後1時30分～3時
神奈川新聞社12階大会議室(横
浜市中区)
講師：文芸評論家 三宅香帆氏
演題：なぜ働いていると本が読
めなくなるのか

◇2026年2月特別講演会(講
演・交流会)
2月18日(水)
午後3時30分～7時30分(予定)
ホテルニューグランド(横浜
市中区)
※講師・演題は調整中

【お知らせ】会報「政経かながわ」に会員企業の新商品の紹介、地域貢献活動、人事などジャンルを問わずさまざまな会員情報を掲載しています。掲載の問い合わせなどは事務局 ☎045 (226) 2121。

視点 点描



スマホの使い方、議論を

いまや多くの人の生活に欠かせないツールとなった「スマートフォン」。電話、メール、ゲーム、動画視聴など用途はさまざまだが、その便利さゆえにスマホ依存に陥るケースも少なくないという。そんなスマホの使い方に一石を投じたのが、愛知県豊明市の「スマホ2時間条例」だろう。仕事や勉強時間以外でのスマホやゲーム

機などの使用について、1日当たり2時間以内を目安とするよう市民に促す内容だ。

全国初で、小学生以下の使用は午後9時まで、中学生以上18歳未満は午後10時までを目安とすることも盛り込まれている。スマホなどの使い過ぎを防ごうという趣旨は十分に理解できるものだろう。ただ、受け止め方はさまざまで、

「なぜ役所が決めるのか」といった批判も相次いで寄せられたという。目安として挙げた「2時間」は睡眠時間に関する厚生労働省の指針などを参考に算出したとのことだが、「短過ぎる」との思いや根拠の弱さも反発を招く一因となったのかもしれない。

条例の前文からは、スマホなどを過度に使用することで睡眠時間や家族間の対話が減ってしまい、健康面や家庭環境に影響しかねないことへの配慮がにじむ。罰則のない「理念条例」である。我が家でもスマホの利用時間が話題に上がったように、各家庭でスマホと

の上手な付き合い方を考えるきっかけになれば重畳であろう。スマホの利用時間を巡る議論はもちろん大切だが、個人的には「歩きスマホ」や「ながらスマホ」についても議論を促したい。

東京消防庁によると、徒歩や自

転車で移動中にスマホの画面を見たり操作したりすることでけがをし、救急搬送された人の数は20年からの5年間で管内で計143人に上っている。

実際、駅のホームなどではスマホの画面から視線を外さず階段を下りる人の姿を目にすることも多く、見ていて心配になってしまふ。歩道でスマホを見ながら進んでくるとぶつかりそうになったことも一度や二度ではない。

「ながらスマホ」の影響は健康面でも懸念される。肩や首、視力などへの悪影響を指摘する声が聞かれるほか、トイレでスマホを使う人は痔じのリスクが高まるとの研究結果も海外で報告されている。自分の身を守るためにも、一度立ち止まってスマホの適切な使い方について考えていきたい。

(神奈川新聞社報道部長兼論説委員・

石尾 正大)